
手術部位感染（SSI）部門

仕様確認書

【 公開情報（年報） 】

改版履歴

版数	改版日	改版内容
初版	2010/3/5	初版作成

目次

1. データフォーマット.....	6
1.1. 分母データ	6
1.2. 分子データ	7
2. 共通仕様	8
2.1. 仕様書内の表現規則	8
2.1.1. 項目	8
2.1.2. 結果	8
2.2. 共通条件.....	9
2.2.1. 対象期間	9
2.2.2. 医療機関	9
2.2.3. 全医療機関.....	9
2.2.4. 手術手技	9
2.2.5. 数値の表記について.....	9
2.3. 提出データ構造	10
2.3.1. データ種類.....	10
2.3.2. データ連結.....	10
2.3.3. 重複データ.....	10
3. 共通計算式.....	11
3.1. 共通計算式一覧	11
3.1.1. SSI 件数	11
3.1.2. 手術件数	11
3.1.3. SSI 発生率.....	11
3.1.4. 腹腔鏡.....	11
3.1.5. 対象分離菌数	11
3.1.6. リスクインデックス.....	11
4. 帳票別仕様書	16
4.1. 公開表 1	16
[帳票イメージ].....	16
[算出方法について].....	17
4.1.1. 対象期間	17
4.1.2. 手術手技分類	17
4.1.3. データ提出医療機関数	17
4.1.4. 手術件数	17
4.1.5. SSI 件数	17
4.1.6. SSI 発生率.....	17
4.1.7. 手術手技分類 (合計)	17
4.1.8. データ提出医療機関数 (合計)	17
4.1.9. 手術件数 (合計)	17
4.1.10. SSI 件数 (合計)	17

4.1.11. SSI 発生率 (合計)	18
4.1.12. データ作成日	18
4.2. 公開表 2-1	19
[帳票イメージ]	19
[算出方法について]	20
4.2.1. 対象期間	20
4.2.2. 手術手技分類	20
4.2.3. RI 0 SSI 件数	20
4.2.4. RI 0 手術件数	20
4.2.5. RI 0 SSI 発生率	20
4.2.6. RI 1 SSI 件数	20
4.2.7. RI 1 手術件数	20
4.2.8. RI 1 SSI 発生率	21
4.2.9. RI 2 SSI 件数	21
4.2.10. RI 2 手術件数	21
4.2.11. RI 2 SSI 発生率	21
4.2.12. RI 3 SSI 件数	21
4.2.13. RI 3 手術件数	21
4.2.14. RI 3 SSI 発生率	21
4.2.15. データ作成日	22
4.3. 公開表 2-2	23
[帳票イメージ]	23
[算出方法について]	24
4.3.1. 対象期間	24
4.3.2. 手術手技分類	24
4.3.3. RI M SSI 件数	24
4.3.4. RI M 手術件数	24
4.3.5. RI M SSI 発生率	24
4.3.6. RI 0 SSI 件数	24
4.3.7. RI 0 手術件数	24
4.3.8. RI 0 SSI 発生率	25
4.3.9. RI 1 SSI 件数	25
4.3.10. RI 1 手術件数	25
4.3.11. RI 1 SSI 発生率	25
4.3.12. RI 2 SSI 件数	25
4.3.13. RI 2 手術件数	25
4.3.14. RI 2 SSI 発生率	25
4.3.15. RI 3 SSI 件数	26
4.3.16. RI 3 手術件数	26
4.3.17. RI 3 SSI 発生率	26
4.3.18. 手術手技分類	26
4.3.19. RI 0-Yes SSI 件数	26

4.3.20. RI 0-Yes 手術件数	26
4.3.21. RI 0-Yes SSI 発生率	26
4.3.22. RI 0-No SSI 件数	27
4.3.23. RI 0-No 手術件数	27
4.3.24. RI 0-No SSI 発生率	27
4.3.25. RI 1 SSI 件数	27
4.3.26. RI 1 手術件数	27
4.3.27. RI 1 SSI 発生率	27
4.3.28. RI 2 SSI 件数	27
4.3.29. RI 2 手術件数	28
4.3.30. RI 2 SSI 発生率	28
4.3.31. RI 3 SSI 件数	28
4.3.32. RI 3 手術件数	28
4.3.33. RI 3 SSI 発生率	28
4.3.34. データ作成日	28
4.4. 公開表 3	29
[帳票イメージ]	29
[算出方法について]	30
4.4.1. 対象期間	30
4.4.2. 全 SSI 発生件数	30
4.4.3. 培養検査施行件数	30
4.4.4. 培養検査非施行件数	30
4.4.5. 総分離菌数	30
4.4.6. 各分離菌数（上位 10 菌種、その他）	30
4.4.7. 各分離菌割合（上位 10 菌種、その他）	30
4.4.8. データ作成日	31
[グラフ]	31
4.4.9. グラフ 検体分離菌の割合	31

1. データフォーマット

JANIS サイトに公開されている下記の SSI 部門データフォーマットを参照

http://www.nih-janis.jp/section/format/dataformat_ssi_ver1.2_20090928.xls

1.1. 分母データ

No.	項目名	項目説明
1	レコード区分	1 = 分母データ《固定》
2	バージョン	V200
3	医療機関	医療機関コード(5文字)
4	管理 No	医療機関(5文字)+yyymm+連番(5文字)《yyは西暦の下2桁、mmは月。1月は01》
5	手術年月日	YYYYMMDD《西暦年、月、日。2008年2月1日は、20080201》
6	患者ID	半角15桁まで《半角英数字とハイフン“-”のみ使用可能。復号可能な暗号化を施してあること》
7	年齢	手術日現在の年齢
8	性別	M = 男性、F = 女性
9	手術手技	手術手技コードを用いる
10	手術時間(hr)	半角数字(自然数)
11	手術時間(min)	半角数字(自然数)
12	手術時間(分)	hr+Min《上2項目から計算可能》
13	創分類	創分類コードを用いる
14	ASA	ASA分類コードを用いる
15	全麻	0 = 全身麻酔以外 1 = 全身麻酔
16	緊急	0 = 待機/定時手術 1 = 緊急手術
17	外傷	0 = なし 1 = あり
18	埋入物	0 = なし 1 = あり
19	内視鏡	0 = 使用なし 1 = 使用あり
20	合併手術	0 = なし 1 = 同じ切開創で2つ以上の手術
21	人工肛門	0 = 造設なし 1 = 造設術あり
22	日帰	0 = 入院から退院まで24時間以上 1 = 入院から退院まで24時間未満
23	SSI	0 = なし 1 = あり

1.2. 分子データ

No.	項目名	項目説明
1	レコード区分	2:分子データ《固定》
2	バージョン	V200
3	医療機関	医療機関コード(5文字)
4	管理 No	医療機関(5文字)+yymm+連番(5文字)《分母データと共通のものを用いること》
5	患者 ID	半角 15 桁 《分母データと共通のものを用いること》
6	感染診断年月日	YYYYMMDD 《西暦年、月、日。2008年2月1日は、20080201》
7	感染部位深	1= 表層切開創, 2 = 深部切開創, 3 = 臓器/体腔
8	感染特定部位	部位コード 《上項の部位深に対応した部位から選択》
9	診断時期	A = 入院中, P = 退院後, R = 再入院
10	検体	検体コード 《培養検査未実施のコードが全角 5 文字“0(ゼロ)”であることに注意》
11	病原体 1	病原体コード《コード表にない “no growth”、“不明”も入力可》培養検査未実施の場合は、シフト JIS コード(8144) (hex) の “. ”(全角)を入れてください
12	病原体 2	病原体コード《該当しない場合は、シフト JIS コード(8144) (hex) の “. ”(全角)を入れてください》
13	病原体 3	同上
14	病原体 4	同上
15	転帰二次感染	0 = なし 1 = あり
16	転帰死亡	0 = 生存 1 = 入院時死亡
17	転帰死亡感染	SSI 転帰コード 《転帰(入院中死亡)が「生存」の場合は、シフト JIS コード(8144) (hex) の “. ”(全角)を入れてください》
18	皮下膿瘍	1 = SSI の原因は皮下膿瘍 2 = それ以外 0 = 不明
19	縫合不全	1 = SSI の原因は縫合不全 2 = それ以外 0 = 不明
20	遺残膿瘍	1 = SSI の原因は遺残膿瘍 2 = それ以外 0 = 不明

2. 共通仕様

2.1. 仕様書内の表現規則

2.1.1. 項目

データフォーマットの項目名や計算項目を参照する場合は【】で囲って記載する（【】内の番号は、項番を表す）

例) 1.1 分母データの【1.レコード区分】

2.1.2. 結果

データフォーマットなどの項目への設定値を表す場合は「」で囲む

例) 1.1 分母データの【5.手術年月日】が「20080201」であるもの

2.2. 共通条件

2.2.1. 対象期間

対象期間は、1.1 分母データの【5.手術年月日】を基準とし、1月から12月の範囲を対象期間とする
例えば、2008年を対象年とした場合、1.1 分母データの【5.手術年月日】に「20080101」～「20081231」が設定されているデータを対象とする

2.2.2. 医療機関

医療機関は、1.1 分母データ及び 1.2 分子データの【3.医療機関】によって分別される

2.2.3. 全医療機関

データを提出した全ての医療機関を指す
ただし、異常と判断されたデータを提出した医療機関は除外とする

2.2.4. 手術手技

手術手技は、1.1 分母データの【9.手術手技】によって分別される

2.2.5. 数値の表記について

百分率で値を表記する場合、小数第二位を四捨五入し小数第一位までを表示する
箱髴図で使用する値は、小数第一位を四捨五入し整数で表示する
特に表記がある場合については、そちらを優先する

2.3. 提出データ構造

2.3.1. データ種類

各医療機関から下記の2種類のデータが送信される

①1.1 分母データ（【1.レコード区分】が「1」のデータ）

②1.2 分子データ（【1.レコード区分】が「2」のデータ）

フォーマットの詳細は1.データフォーマットを参照

2.3.2. データ連結

1.1 分母データと 1.2 分子データは互いの【4.管理 No】と【6.患者ID】が等しいレコード同士を1:1で連結する

2.3.3. 重複データ

【2.3.2 データ連結】によって連結されたデータにおいて、下記の項目（キー項目）がすべて一致するものは重複データとみなす

重複データがあった場合は、報告ファイル内で先にあったものを優先し、後の方を重複エラーとして取り込まない

- ・ 1.1 分母データの【3.医療機関】
- ・ 1.1 分母データの【5.手術年月日】
- ・ 1.1 分母データの【6.患者ID】
- ・ 1.1 分母データの【9.手術手技】

報告ファイル内でデータの重複があります。表示された項目を確認してください。

データごとに、特定項目は一意になるように設定する必要があります。
特定項目の内容が重複した場合にエラーとなります。
エラーメッセージのフォーマットに表示されている項目が特定項目です。

3. 共通計算式

3.1. 共通計算式一覧

3.1.1. SSI 件数

- [解説] 手術部位感染 (SSI) が発生した手術件数
 [算出方法] 1.1 分母データの【23. SSI】が「1」であるデータの件数

3.1.2. 手術件数

- [解説] 手術を行った件数
 [算出方法] 提出された 1.1 分母データの全ての件数

3.1.3. SSI 発生率

- [解説] 【3.1.1 SSI 件数】の【3.1.2 手術件数】に占める割合 (%)
 [算出方法] 【3.1.1 SSI 件数】÷【3.1.2 手術件数】× 100

3.1.4. 腹腔鏡

- [解説] 1.1 分母データの【9. 手術手技】が「CHOL」、「COLN」、「REC」、「APPY」、「GAST」を対象に、腹腔鏡を使用しているかどうかの判断を行う
 [算出方法] 1.1 分母データの【19. 内視鏡】が「1」なら腹腔鏡を使用している
 1.1 分母データの【19. 内視鏡】が「0」なら腹腔鏡を使用していない

3.1.5. 対象分離菌数

- [解説] 培養検査を施行した検体から対象の病原体が分離された件数
 [算出方法] ・1.2 分子データの【11. 病原体1】に対象となる病原体コードがセットされているデータの件数
 +1.2 分子データの【12. 病原体2】に対象となる病原体コードがセットされているデータの件数
 +1.2 分子データの【13. 病原体3】に対象となる病原体コードがセットされているデータの件数
 +1.2 分子データの【14. 病原体4】に対象となる病原体コードがセットされているデータの件数

3.1.6. リスクインデックス

- [解説] 下記項目の危険度に対し点数を付け、それらの合計をリスクインデックス (RI) とする
 ・ ASA の身体状態分類
 ・ 創分類
 ・ 手術手技分類に対する手術時間
 ・ 腹腔鏡の使用有無
- [算出方法] 下記点数 A~D の合計をリスクインデックスとする

点数 A : ASA の身体状態分類から点数を求める

1.1 分母データの【14. ASA】の値により下記の様に分類する

【14.ASA】	説明	点数 A
ASA1	標準的な健康な患者	0
ASA2	軽い全身疾患の患者	
ASA3	重篤な全身症状があるが、活動不能でない患者	1
ASA4	日常生活を営めない、常に生命を脅かされている全身疾患の患者	
ASA5	手術の有無にかかわらず、24時間生きることが予測できない瀕死の患者	
ASA6	脳死状態	

点数 B : 創分類から点数を求める

1.1 分母データの【13. 創分類】の値により下記の様に分類する

【13.創分類】	創分類名	点数 B
C	清潔創(クラスⅠ)	0
CC	準清潔創(クラスⅡ)	
C0	汚染創(クラスⅢ)	1
D	化膿創(クラスⅣ)	

点数 C : 手術手技分類に対する手術時間から点数を求める

1.1 分母データの【9. 手術手技】を元に下記の表からカットオフポイント(分)を参照し、1.1 分母データの【12. 手術時間(分)】がこれを超過していた場合、点数 C を 1 点とする

例 1) 1.1 分母データの【9. 手術手技】が「AMP」で【12. 手術時間(分)】が「100」の場合、点数 C は 0

例 2) 1.1 分母データの【9. 手術手技】が「AMP」で【12. 手術時間(分)】が「120」の場合、点数 C は 0

例 3) 1.1 分母データの【9. 手術手技】が「AMP」で【12. 手術時間(分)】が「150」の場合、点数 C は 1

【9.手術手技】	手術手技	カットオフポイント(分)
AMP	四肢切断術	120
APPY	虫垂切除術	60
BILI	胆管胆道、肝臓、膵臓手術	240
CARD	心臓手術	300
CBGB	冠状動脈バイパスグラフト胸部と足(採取側)での切開	300
CBGC	冠状動脈バイパスグラフト胸部のみの切開	240
CHOL	胆嚢摘出術	120
COLN	結腸手術	180
CRAN	開頭術	240
CSEC	帝王切開術	60
ESOP	食道手術	180
FUSN	脊椎固定術	240
FX	骨折の観血的整復法	120
GAST	胃手術	180
HER	ヘルニア縫縮術	120
HN	頭頸部手術	420
HPRO	人工股関節	120
HYST	腹式子宮摘出術	120
KPRO	人工膝関節	120
LAM	椎弓切除術	120
MAST	乳房切除術	180
NEPH	腎臓摘出術	240
OBL	その他、血液リンパ系	180
OCVS	その他、心臓血管系	120
OENT	その他、耳、鼻、口、咽頭	180
OES	その他、内分泌系	180

【9.手術手技】	手術手技	カットオフポイント(分)
OEYE	その他、眼	120
OGIT	その他、消化器系	120
OGU	その他、泌尿生殖器系	120
OMS	その他筋骨格系	180
ONS	その他神経系	240
OOB	その他、産科手技	60
OPRO	その他、人工関節	180
ORES	その他、呼吸器系	120
OSKN	その他、外皮系	120
PRST	前立腺切除術	240
REC	直腸手術	180
SB	小腸手術	180
SKGR	皮膚移植	180
SPLN	脾臓摘出術	180
THOR	胸部手術	180
TP	臓器移植	360
VHYS	経膈的子宮摘出術	120
VS	血管手術	180
VSHN	脳室シャント	120
XLAP	開腹術	120

点数 D : 腹腔鏡の使用有無から点数を求める

1.1 分母データの【9.手術手技】と【3.1.4 腹腔鏡】の使用有無により点数 D を求める
 1.1 分母データの【9.手術手技】が「CHOL」、「COLN」、「REC」以外の場合は 0 点となる

例 1) 1.1 分母データの【9.手術手技】が「REC」で【3.1.4 腹腔鏡】を使用している場合、点数 D は-1

例 2) 1.1 分母データの【9.手術手技】が「REC」で【3.1.4 腹腔鏡】を使用していない場合、点数 D は 0

【9.手術手技】	【3.1.4 腹腔鏡】	点数 D
「CHOL」、「COLN」、「REC」	使用している	-1
	使用していない	0
上記以外のコード	-	

点数 A～D の合計からリスクインデックスを求める

点数 A～D の合計によって [リスクインデックス] の値を決定する

また、1.1 分母データの【9. 手術手技】が「APPY」、「GAST」であり A～D の合計が 0 点の場合は、【3.1.4 腹腔鏡】の使用有無によりリスクインデックスの値を決定する

例 1) 1.1 分母データの【9. 手術手技】が「APPY」で点数 A～D の合計が 0 点で【3.1.4 腹腔鏡】を使用している場合、リスクインデックスは [0-Yes]

例 2) 1.1 分母データの【9. 手術手技】が「APPY」で点数 A～D の合計が 0 点で【3.1.4 腹腔鏡】を使用していない場合、リスクインデックスは [0-No]

例 3) 1.1 分母データの【9. 手術手技】が「APPY」で点数 A～D の合計が 3 点の場合、【3.1.4 腹腔鏡】の使用に関わらずリスクインデックスは [3]

【9.手術手技】	点数 A～D の合計	【3.1.4 腹腔鏡】	リスクインデックス
「APPY」、「GAST」	0	使用している	[0-Yes]
		使用していない	[0-No]
	0 以外	-	点数 A～D の合計
上記以外のコード	-	-	点数 A～D の合計

4. 帳票別仕様書

4.1. 公開表 1

[帳票イメージ]

形式 (横長)

各手術手技分類および合計の各値を算出する

手術手技分類はマスタから全分類を表示する (対象期間に提出の無い手術手技分類も表示する)

1 ページに最大 32 行を表示する

4.1.1

1. JANIS 手術部位感染 (SSI) 部門 公開資料 (年報) 2008年 年報

手術手技別手術部位感染発生状況
(対象期間 2008年1月1日~2008年12月31日)

手術手技分類	データ提出医療機関数	手術件数	SSI件数	SSI発生率
OPRO	1	1	0	0.0%
ORES	2	13	0	0.0%
OSKN	4	9	0	0.0%
PRST	1	1	0	0.0%
REC	23	70	14	20.0%
SB	10	34	2	5.9%
SKGR	2	3	0	0.0%
SPLE	3	3	0	0.0%
THOR	5	59	0	0.0%
TP	0	0	0	0.0%
VHYS	4	9	0	0.0%
VS	11	40	0	0.0%
VSHN	1	4	0	0.0%
XIAP	9	23	2	8.7%
合計	64	1424	68	4.8%

(集計対象医療機関数: 64)

4.1.2

4.1.3

4.1.4

4.1.5

4.1.6

4.1.7

4.1.8

4.1.9

4.1.10

4.1.11

データ作成日 2010年3月5日

2

4.1.12

[算出方法について]

4.1.1. 対象期間

- [解説] 対象期間の範囲
- [算出方法] 【2.2.1 対象期間】の開始日と終了日

4.1.2. 手術手技分類

- [解説] 対象となる手術手技コード
- [算出方法] 対象となる【2.2.4 手術手技】

4.1.3. データ提出医療機関数

- [解説] 対象期間に各手術手技による手術を報告した医療機関の数
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【2.2.2 医療機関】の件数

4.1.4. 手術件数

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の各手術手技における手術件数
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.2 手術件数】

4.1.5. SSI 件数

- [解説] 対象期間に報告された各手術手技における SSI 件数
- [算出方法] 【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.1 SSI 件数】

4.1.6. SSI 発生率

- [解説] 対象期間に報告された各手術手技における SSI 発生率(%)
- [算出方法] 【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.3 SSI 発生率】

4.1.7. 手術手技分類 (合計)

- [解説] [合計]を表示
- [算出方法] [合計]を表示

4.1.8. データ提出医療機関数 (合計)

- [解説] 対象期間に手術を報告した医療機関の数
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.2 医療機関】の件数

4.1.9. 手術件数 (合計)

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の手術件数
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【3.1.2 手術件数】

4.1.10. SSI 件数 (合計)

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の SSI 件数
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【3.1.1 SSI 件数】

4.1.11. SSI 発生率（合計）

[解説] 対象期間に報告された全医療機関の SSI 発生率 (%)

[算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【3.1.3 SSI 発生率】

4.1.12. データ作成日

[解説] 全医療機関の集計日

[算出方法] 全医療機関として【2.2.1 対象期間】のデータを集計した年月日

4.2. 公開表 2-1

[帳票イメージ]

形式 (横長)

手術手技分類毎に各値を算出する

手術手技分類は「CHOL」「COLN」「REC」「APPY」「GAST」を除き、マスタから全分類を表示する
(対象期間に提出の無い手術手技分類も表示する)

1 ページに最大 31 行を表示する

JANIS 手術部位感染 (SSI) 部門 公開資料 (年報) 2008年 年報												
2-1. 手術手技別リスクインデックス別手術部位感染発生状況 (対象期間 2008年1月1日~2008年12月31日)												
手術手技 分類	RI 0			RI 1			RI 2			RI 3		
	SSI 件数	手術件数	SSI 発生率	SSI 件数	手術件数	SSI 発生率	SSI 件数	手術件数	SSI 発生率	SSI 件数	手術件数	SSI 発生率
AMP	0	2	0.0%	0	1	0.0%	—	—	—	—	—	—
BILI	0	14	0.0%	5	51	9.8%	0	4	0.0%	—	—	—
CARD	0	2	0.0%	0	13	0.0%	0	6	0.0%	—	—	—
CBGB	—	—	—	2	18	11.1%	0	17	0.0%	—	—	—
CBGC	—	—	—	0	2	0.0%	0	4	0.0%	—	—	—
CRAN	0	7	0.0%	0	11	0.0%	0	4	0.0%	—	—	—
CSEC	0	8	0.0%	0	2	0.0%	—	—	—	—	—	—
ESOP	0	1	0.0%	0	17	0.0%	1	2	50.0%	—	—	—
FUSN	0	7	0.0%	0	4	0.0%	0	1	0.0%	—	—	—
FX	0	61	0.0%	0	30	0.0%	0	2	0.0%	—	—	—
HER	0	53	0.0%	0	10	0.0%	—	—	—	—	—	—
HN	0	2	0.0%	0	1	0.0%	—	—	—	—	—	—
HPRO	0	20	0.0%	0	9	0.0%	0	1	0.0%	—	—	—
HYST	0	28	0.0%	0	20	0.0%	0	2	0.0%	0	1	0.0%
KPRO	0	2	0.0%	0	2	0.0%	—	—	—	—	—	—
LAM	0	8	0.0%	0	8	0.0%	—	—	—	—	—	—
MAST	0	26	0.0%	0	3	0.0%	—	—	—	—	—	—
NEPH	0	11	0.0%	0	4	0.0%	—	—	—	—	—	—
OBL	0	3	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—	—
OCVS	0	1	0.0%	—	—	—	0	2	0.0%	—	—	—
OENT	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
OES	1	4	25.0%	0	1	0.0%	—	—	—	—	—	—
OEYE	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
OGIT	0	12	0.0%	0	9	0.0%	0	1	0.0%	—	—	—
OGU	0	15	0.0%	3	9	33.3%	0	1	0.0%	—	—	—
OMS	0	38	0.0%	0	8	0.0%	—	—	—	—	—	—
ONS	0	1	0.0%	0	3	0.0%	—	—	—	—	—	—
OOR	0	1	0.0%	—	—	—	0	1	0.0%	—	—	—
OPRO	—	—	—	0	1	0.0%	—	—	—	—	—	—
ORES	0	3	0.0%	0	8	0.0%	0	1	0.0%	0	1	0.0%
OSKN	0	8	0.0%	—	—	—	—	—	—	0	1	0.0%

データ作成日 2010年3月4日

[算出方法について]

4.2.1. 対象期間

- [解説] 対象期間の範囲
- [算出方法] 【2.2.1 対象期間】の開始日と終了日

4.2.2. 手術手技分類

- [解説] 対象となる手術手技コード
- [算出方法] 対象となる【2.2.4 手術手技】

4.2.3. RI 0 SSI 件数

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の各手術手技毎のリスクインデックスが0点である SSI 発生件数
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「0」である【3.1.1 SSI 件数】

4.2.4. RI 0 手術件数

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の各手術手技毎のリスクインデックスが0点である手術件数
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「0」である【3.1.2 手術件数】

4.2.5. RI 0 SSI 発生率

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の各手術手技毎のリスクインデックスが0点である SSI 発生率 (%)
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「0」である【3.1.3 SSI 発生率】

4.2.6. RI 1 SSI 件数

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の各手術手技毎のリスクインデックスが1点である SSI 発生件数
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「1」である【3.1.1 SSI 件数】

4.2.7. RI 1 手術件数

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の各手術手技毎のリスクインデックスが1点である手術件数
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「1」である【3.1.2 手術件数】

4.2.8. RI 1 SSI 発生率

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の各手術手技毎のリスクインデックスが1点である SSI 発生率 (%)
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「1」である【3.1.3 SSI 発生率】

4.2.9. RI 2 SSI 件数

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の各手術手技毎のリスクインデックスが2点である SSI 発生件数
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「2」である【3.1.1 SSI 件数】

4.2.10. RI 2 手術件数

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の各手術手技毎のリスクインデックスが2点である手術件数
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「2」である【3.1.2 手術件数】

4.2.11. RI 2 SSI 発生率

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の各手術手技毎のリスクインデックスが2点である SSI 発生率 (%)
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「2」である【3.1.3 SSI 発生率】

4.2.12. RI 3 SSI 件数

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の各手術手技毎のリスクインデックスが3点である SSI 発生件数
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「3」である【3.1.1 SSI 件数】

4.2.13. RI 3 手術件数

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の各手術手技毎のリスクインデックスが3点である手術件数
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「3」である【3.1.2 手術件数】

4.2.14. RI 3 SSI 発生率

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の各手術手技毎のリスクインデックスが3点である SSI 発生率 (%)
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「3」である【3.1.3 SSI 発生率】

4.2.15. データ作成日

- [解説] 全医療機関の集計日
- [算出方法] 全医療機関として【2.2.1 対象期間】のデータを集計した年月日

4.3. 公開表 2-2

[帳票イメージ]

形式 (横長)

手術手技分類毎に各値を算出する

手術手技分類は上図が「CHOL」「COLN」「REC」、下図が「APPY」「GAST」となる

JANIS 手術部位感染 (SSI) 部門 公開資料 (年報)

2008年 年報

2-2. 手術手技別リスクインデックス別手術部位感染発生状況 (特殊なリスクインデックスを使用する手術手技) (対象期間 2008年1月1日~2008年12月31日)

手術手技分類	RI M			RI 0			RI 1			RI 2			RI 3		
	SSI件数	手術件数	SSI発生率	SSI件数	手術件数	SSI発生率	SSI件数	手術件数	SSI発生率	SSI件数	手術件数	SSI発生率	SSI件数	手術件数	SSI発生率
CHOL	0	33	0.0%	0	36	0.0%	1	17	5.9%	0	8	0.0%	—	—	—
COLN	0	9	0.0%	6	93	6.5%	14	79	17.7%	5	25	20.0%	3	5	60.0%
REC	—	—	—	3	24	12.5%	7	32	21.9%	4	14	28.6%	—	—	—

手術手技分類	RI 0-Yes			RI 0-No			RI 1			RI 2			RI 3		
	SSI件数	手術件数	SSI発生率	SSI件数	手術件数	SSI発生率	SSI件数	手術件数	SSI発生率	SSI件数	手術件数	SSI発生率	SSI件数	手術件数	SSI発生率
APPY	0	2	0.0%	0	23	0.0%	1	19	5.3%	1	13	7.7%	0	1	0.0%
GAST	0	3	0.0%	0	45	0.0%	4	116	3.4%	3	14	21.4%	0	2	0.0%

(集計対象医療機関数: 64)

データ作成日 2010年3月4日

4.3.1

4.3.2

4.3.3~

4.3.17

4.3.18

4.3.19~

4.3.33

4.3.34

[算出方法について]

4.3.1. 対象期間

- [解説] 対象期間の範囲
- [算出方法] 【2.2.1 対象期間】の開始日と終了日

4.3.2. 手術手技分類

- [解説] 手術手技分類が「CHOL」「COLN」「REC」
- [算出方法] 対象となる【2.2.4 手術手技】

4.3.3. RIM SSI 件数

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の手術手技分類が「CHOL」「COLN」「REC」でリスクインデックスが-1点である SSI 発生件数
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「-1」である【3.1.1 SSI 件数】

4.3.4. RIM 手術件数

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の手術手技分類が「CHOL」「COLN」「REC」でリスクインデックスが-1点である手術件数
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「-1」である【3.1.2 手術件数】

4.3.5. RIM SSI 発生率

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の手術手技分類が「CHOL」「COLN」「REC」でリスクインデックスが-1点である SSI 発生率(%)
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「-1」である【3.1.3 SSI 発生率】

4.3.6. RIM SSI 0 件数

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の手術手技分類が「CHOL」「COLN」「REC」でリスクインデックスが0点である SSI 発生件数
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「0」である【3.1.1 SSI 件数】

4.3.7. RIM 手術件数

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の手術手技分類が「CHOL」「COLN」「REC」でリスクインデックスが0点である手術件数
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「0」である【3.1.2 手術件数】

4.3.8. RI 0 SSI 発生率

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の手術手技分類が「CHOL」「COLN」「REC」でリスクインデックスが0点である SSI 発生率(%)
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「0」である【3.1.3 SSI 発生率】

4.3.9. RI 1 SSI 件数

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の手術手技分類が「CHOL」「COLN」「REC」でリスクインデックスが1点である SSI 発生件数
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「1」である【3.1.1 SSI 件数】

4.3.10. RI 1 手術件数

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の手術手技分類が「CHOL」「COLN」「REC」でリスクインデックスが1点である手術件数
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「1」である【3.1.2 手術件数】

4.3.11. RI 1 SSI 発生率

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の手術手技分類が「CHOL」「COLN」「REC」でリスクインデックスが1点である SSI 発生率(%)
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「1」である【3.1.3 SSI 発生率】

4.3.12. RI 2 SSI 件数

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の手術手技分類が「CHOL」「COLN」「REC」でリスクインデックスが2点である SSI 発生件数
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「2」である【3.1.1 SSI 件数】

4.3.13. RI 2 手術件数

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の手術手技分類が「CHOL」「COLN」「REC」でリスクインデックスが2点である手術件数
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「2」である【3.1.2 手術件数】

4.3.14. RI 2 SSI 発生率

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の手術手技分類が「CHOL」「COLN」「REC」でリスクインデックスが2点である SSI 発生率(%)
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「2」である【3.1.3 SSI 発生率】

4.3.15. RI 3 SSI 件数

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の手術手技分類が「CHOL」「COLN」「REC」でリスクインデックスが3点である SSI 発生件数
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「3」である【3.1.1 SSI 件数】

4.3.16. RI 3 手術件数

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の手術手技分類が「CHOL」「COLN」「REC」でリスクインデックスが3点である手術件数
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「3」である【3.1.2 手術件数】

4.3.17. RI 3 SSI 発生率

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の手術手技分類が「CHOL」「COLN」「REC」でリスクインデックスが3点である SSI 発生率(%)
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「3」である【3.1.3 SSI 発生率】

4.3.18. 手術手技分類

- [解説] 手術手技分類が「APPY」「GAST」
- [算出方法] 対象となる【2.2.4 手術手技】

4.3.19. RI 0-Yes SSI 件数

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の手術手技分類が「APPY」「GAST」でリスクインデックスが0点の腹腔鏡を使用している手術の SSI 発生件数
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「0-Yes」である【3.1.1 SSI 件数】

4.3.20. RI 0-Yes 手術件数

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の手術手技分類が「APPY」「GAST」でリスクインデックスが0点の腹腔鏡を使用している手術件数
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「0-Yes」である【3.1.2 手術件数】

4.3.21. RI 0-Yes SSI 発生率

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の手術手技分類が「APPY」「GAST」でリスクインデックスが0点の腹腔鏡を使用している手術の SSI 発生率(%)
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「0-Yes」である【3.1.3 SSI 発生率】

4.3.22. RI 0-No SSI 件数

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の手術手技分類が「APPY」「GAST」でリスクインデックスが0点の腹腔鏡を使用していない手術の SSI 発生件数
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「0-No」である【3.1.1 SSI 件数】

4.3.23. RI 0-No 手術件数

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の手術手技分類が「APPY」「GAST」でリスクインデックスが0点の腹腔鏡を使用していない手術件数
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「0-No」である【3.1.2 手術件数】

4.3.24. RI 0-No SSI 発生率

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の手術手技分類が「APPY」「GAST」でリスクインデックスが0点の腹腔鏡を使用していない手術の SSI 発生率(%)
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「0-No」である【3.1.3 SSI 発生率】

4.3.25. RI 1 SSI 件数

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の手術手技分類が「APPY」「GAST」でリスクインデックスが1点の手術の SSI 発生件数
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「1」である【3.1.1 SSI 件数】

4.3.26. RI 1 手術件数

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の手術手技分類が「APPY」「GAST」でリスクインデックスが1点の手術件数
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「1」である【3.1.2 手術件数】

4.3.27. RI 1 SSI 発生率

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の手術手技分類が「APPY」「GAST」でリスクインデックスが1点の手術の SSI 発生率(%)
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「1」である【3.1.3 SSI 発生率】

4.3.28. RI 2 SSI 件数

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の手術手技分類が「APPY」「GAST」でリスクインデックスが2点の手術の SSI 発生件数
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「2」である【3.1.1 SSI 件数】

4.3.29. RI 2 手術件数

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の手術手技分類が「APPY」「GAST」でリスクインデックスが2点の手術件数
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「2」である【3.1.2 手術件数】

4.3.30. RI 2 SSI 発生率

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の手術手技分類が「APPY」「GAST」でリスクインデックスが2点の手術のSSI発生率(%)
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「2」である【3.1.3 SSI発生率】

4.3.31. RI 3 SSI 件数

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の手術手技分類が「APPY」「GAST」でリスクインデックスが3点の手術のSSI発生件数
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「3」である【3.1.1 SSI件数】

4.3.32. RI 3 手術件数

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の手術手技分類が「APPY」「GAST」でリスクインデックスが3点の手術件数
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「3」である【3.1.2 手術件数】

4.3.33. RI 3 SSI 発生率

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の手術手技分類が「APPY」「GAST」でリスクインデックスが3点の手術のSSI発生率(%)
- [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【2.2.4 手術手技】の【3.1.6 リスクインデックス】が「3」である【3.1.3 SSI発生率】

4.3.34. データ作成日

- [解説] 全医療機関の集計日
- [算出方法] 全医療機関として【2.2.1 対象期間】のデータを集計した年月日

4.4. 公開表 3

[帳票イメージ]

形式 (横長)

上図の目盛は 10%毎に表示する

JANIS 手術部位感染 (SSI) 部門 公開資料 (年報)

2008年 年報

3. 手術部位感染の原因菌

(対象期間 2008年1月1日~2008年12月31日)

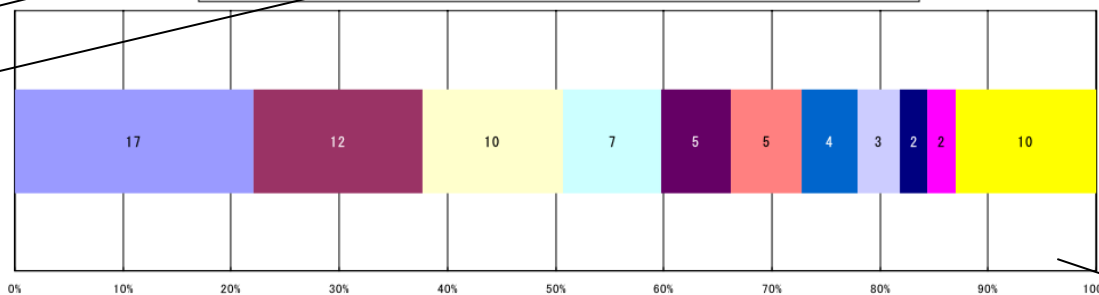
全SSI発生件数 : 68

培養検査施行件数 : 50

培養検査非施行件数 : 18

総分離菌数 : 77

■ ENTFS ■ PA ■ MRSA ■ EC ■ BF ■ 不明 ■ ENC ■ KP ■ ENTFM ■ SA ■ その他



上位10菌種以外はその他として集計

菌種	分離数	分離割合 (%)
ENTFS	17	22.1
PA	12	15.6
MRSA	10	13.0
EC	7	9.1
BF	5	6.5
不明	5	6.5
ENC	4	5.2
KP	3	3.9
ENTFM	2	2.6
SA	2	2.6
その他	10	13.0

(集計対象医療機関数:64)

データ作成日 2010年3月5日

4.4.1

4.4.2

4.4.3

4.4.4

4.4.5

4.4.9

4.4.6

4.4.7

4.4.8

[算出方法について]

4.4.1. 対象期間

- [解説] 対象期間の範囲
 [算出方法] 【2.2.1 対象期間】の開始日と終了日

4.4.2. 全 SSI 発生件数

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の SSI 発生件数の総数
 [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の【3.1.1SSI 件数】

4.4.3. 培養検査施行件数

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の培養検査施行件数
 [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の1.2分子データの【10. 検体】が「0 (ゼロ)」ではない【3.1.1SSI 件数】

4.4.4. 培養検査非施行件数

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の培養検査非施行件数
 [算出方法] 【4.4.2 全 SSI 発生件数】 - 【4.4.3 培養検査施行件数】

4.4.5. 総分離菌数

- [解説] 対象期間に報告された全医療機関の、培養検査施行検体の分離菌数の合計 (1 検体から複数分離された場合は複数として集計)
 [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】の「no growth」、「.」、「CTM」、「NP」以外の【3.1.5 対象分離菌数】の合計

4.4.6. 各分離菌数 (上位 10 菌種、その他)

- [解説] 全医療機関の対象期間に報告された、培養検査施行検体の分離菌数の上位 10 菌種と、その他 (上位 10 菌種以外の合計) の分離菌数
 尚、10 位と同数の計上の菌があった場合、病原体コードの昇順で優先する
 [算出方法] 【2.2.3 全医療機関】の【2.2.1 対象期間】のデータについて以下の計算を行う
 1) 上位 10 菌種
 「no growth」、「.」、「CTM」、「NP」ではない各病原体コードの上位 10 菌種の各【3.1.5 対象分離菌数】
 (「不明」と「UNK」は同一の項目と見なし、合計を「不明」としてカウントする)
 2) その他
 「no growth」、「.」、「CTM」、「NP」ではなく、上位 10 菌種でもない病原体コードの【3.1.5 対象分離菌数】の合計
 (「不明」と「UNK」は同一の項目と見なし、合計を「不明」としてカウントする)

4.4.7. 各分離菌割合 (上位 10 菌種、その他)

- [解説] 全医療機関の対象期間に報告された、培養検査施行検体の分離菌数の上位 10 菌種と、その他 (上位 10 菌種以外の合計) の分離菌数の総分離菌数に占める割合 (%)
 [算出方法] 【4.4.6 各分離菌数 (上位 10 菌種、その他)】 ÷ 【4.4.5 総分離菌数】 × 100

4.4.8. データ作成日

- [解説] 全医療機関の集計日
- [算出方法] 全医療機関として【2.2.1 対象期間】のデータを集計した年月日

[グラフ]

4.4.9. グラフ 検体分離菌の割合

- [解説] 全医療機関の対象期間に報告された、培養検査施行検体の分離菌数の上位 10 菌種と、その他（上位 10 菌種以外の合計）を積み上げ棒グラフで表示（%）
（小数点第一位を四捨五入して整数で表示）
1 位から 10 位の順にグラフの左から表示し、その他を 10 位の右に表示する
尚、10 位と同数の計上の菌があった場合、病原体コードの昇順で優先して図に表示し、表示できない菌の種類が 5 菌種以下であれば図の下方に
※ [000] [000]も△%であったがグラフ中には表示されていない
と表示し、6 菌種以上である場合は病原体コードの昇順で 5 菌種までを使用して、
※ [000] [000] [000] [000] [000]なども△%であったがグラフ
中には表示されていない
と表示する
（000には菌名、△には菌の割合が入る）
- [算出方法] 【4.4.7 各分離菌割合（上位 10 菌種、その他）】を参照